



vol. 20 2004/9 発行所 酒井大史後援会・事務所 立川市曙町 2-34-6-803 TEL 042-528-6522

*I never forget my first resolution.*

議員活動10年 ……都議会 3年

# 酒井大史 これからも 都政改革に挑戦



10年間続けている定例会朝の街頭演説



小川敏夫参議院議員・長島昭久代議士と共に



参議院選、岡田代表も立川に！熱波の中、汗を拭き拭きの戦いでした。

皆様のご支援をいただき、酒井大史の議会活動もこの8月で九十年になりました。この間のご指導、ご支援に心から感謝申し上げます。おかげさまで、都政における何点かの政策課題については実現、または前進させることができました。都議会議員としての任期も残り1年を切りましたので、都議選の折、選挙公報に掲載しました政策の進捗状況について、一部中間報告をさせていただきます。また酒井大史が都議会のライフワークとして取り組んでいる犯罪被害者支援について、今回も調査報告を含め紹介させて頂いていますが、最近の取り組みとしては、石原都知事から「酒井さんの方で作ってみては」といわれた犯罪被害者支援条例案（行政提案型と議員提案型）を作成し、今後、行政提案して頂くか議員提案するか調整しています。実現に向け全力で取り組んで参ります。

最後になりますが、先の参議院議員選挙では民主党に多くのご支援をいただきありがとうございました。東京選挙区では、小川敏夫参議院議員とれんほうさんの2人を当選させて頂きました。民主党に対する皆様の期待の1票をしっかりと受け止め、酒井大史も「市民の不幸の最小化」(注)を目指し、長島昭久代議士とも連携しつつ活動を進めて参ります。

項目	状況	課題
電子入札の導入	電子入札については実現、今年度順次拡大中	安全性・利便性の確保と入札制度自体の透明性の推進
犯罪被害者支援施策の推進	一部初診料の負担、医療機関向け対応マニュアルの作成、小中学校における人権教育プログラムに被害者の人権を掲載	条例の制定、継続的な支援体制の構築
環境自治体の確立	都独自のNOx規制が導入された	循環型社会の構築
認証保育制度の拡充	市内に2カ所開設、内1カ所（酒井事務所と同じビルにあります）の開設を側面支援	利用実態の調査
経済再建・雇用創出	特に中高年の雇用対策の必要性を指摘、東京しごとセンター開所	雇用の創出に向けた経済対策等（都だけでは限界も）

インターネットにて情報発信中!!

議会日程など最新情報や紙面に掲載しきれない情報は、ホームページ版「We can.」をご覧ください。  
<http://www.daishicomcom.com/>  
 また都政についてのご意見も下記メールアドレスにお寄せ下さい。sakai@daishicomcom.com

東京都議会議員・民主党

# 酒井大史 だいし (36才)

注：少し逆説的な言い方ですが、市民の幸せの感じ方は十人十色であり、幸せを最大化することはなかなか難しいことです。しかし、今回の年金問題のように放置しておくとも市民が不幸になる事柄を無くし最小化することは政治の力で可能です。これは、菅直人前代表が言われた言葉ですが、同感し使わせて頂いています。



## 経済港湾委員会 「東京港の自然再生について」

**酒井** 多摩川のアユ、故郷は羽田沖、都水産試験場が稚魚を確認との新聞報道やNHKでも「大都会にアユ百万匹 多摩川 奇跡の復活」との放送がありました。鮎は多摩川で産卵し、秋にふ化し、川を下り、冬、川に比べ温かい海で育ち、水ぬるむ春、川を遡上するとのことです。鮎の稚魚が過ごす海は、東京湾のお台場、葛西、羽田沖の浅場であるとのことで、東京湾の自然環境が再生してきているあかしであると思います。この点についてどのように認識をしているのか。

**安藤参事** 平成14年には、百万匹を超えるアユの遡上が観測されている。この要因として、下水道整備などが進み、海、川の水質が向上したことと、多摩川、秋川では、下流から上流まで魚道が整備されたこと、稚魚が育つ東京湾の生息環境が向上している、その三点が相まってのことでありと考えている。

**酒井** 東京港では、水生生物の生息環境向上に向けて具体的にどのような取り組みを行っているのか。

**安藤参事** 稚魚が育つ環境として、水質に加え、水深が浅く、酸素が十分に供給される緩い傾斜の水際線などが適しているといわれている。そこで、直立式の護岸形状を見直し、緩い傾斜の水際線となる干潟や砂浜などを整備してきた。具体的には、大井ふ頭中央海浜公園、葛西海浜公園、お台場海浜公園、羽田沖浅場など、6カ所で整備を行っている。

**酒井** 先般、都の海上公園では、規制緩和の一環として、海での釣りを解禁したと聞きましたが、これも東京港に豊かな生物が生息しているこそ成り立つものです。水生生物の生育環境となる砂浜などの維持管理にどのように取り組んできているのか。

**安藤参事** 良好な水生生物の生息環境を創出していくためには、適切に維持管理していくことが重要。新しい試みとして、浜辺から直角に、幅五メートル、長さ五十メートルほど突き出したいそ状の構造物、砂どめ堤を試験的に整備し、砂の流出防止対策を行っている。また、水質汚濁防止の観点からも清掃作業を行い、砂浜や水面のごみ等の除去に加え、海底までも実施している。

**酒井** 東京湾の自然の再生は、よりよい環境を次世代へと引き継ぐための重要な課題であり、私たちの世代の責任でもある。環境保全問題は、経済発展の陰で地味になりがちですが、より積極的に取り組むべきものと考えます。東京港の自然再生は、多摩川だけでなく、東京湾に注ぐ河川すべての自然再生にもつながるものと考えていますが、東京湾の再生に向けての局長の決意をお伺いします。

**成田港湾局長** 東京の海の自然再生の取り組みが、海だけではなく、多摩川の上流の多摩の自然回復にも重要という非常に貴重なご指摘をいただきました。東京の海は、昔から非常に自然の幸に恵まれた美しい港であったわけで、港湾局といたしましては、きょうご指摘の点も踏まえ、物流拠点であると同時に、自然再生の拠点、インキュベーター役も果たしてまいりたいと考えています。

### 「しごとセンターについて」

**酒井** 夏に開設予定のしごとセンターでは、従来、ハローワークでは扱ってこなかった業務も実施していくと聞いている。現行のハローワークによる就職支援や、従来の都の雇用・就業施策にはどのような問題があるのか。

**安藤雇用就業推進担当部長** ハローワークでは、求職者本人が求人情報を端末装置などから取り出し、窓口を持っていきますと、その職員が紹介状を発行するシステムが主流となっています。従って、求職者の適性の把握や就職活動に対するアドバイスが必ずしも十分に行われていないことが最大の課題と考えています。都の課題としては、就職支援セミナーや合同面接会等を実施してきましたが、単発的な事業実施にとどまっていたと考えています。また、都とハローワークに共通する課題としては、教育分野等との連携が十分ではなかったと考えています。

**酒井** しごとセンターの設置によって、これまでの就業支援策の問題点がどのように改善されるのか、また、具体的にどのような就業支援を行っていくのか。

**安藤雇用就業推進担当部長** 民間事業者が持っている豊富なノウハウと情報を最大限活用し、きめ細やかなカウンセリング、セミナー、あるいは職業能力開発、職業紹介を行うなど、就職に向けた総合的な支援を行っていきたく考えています。また、専門相談におきましては、起業、創業等を含めて、いろいろな就業スタイルを目指す都民にも対応していく予定。若年者対策として、学校との協力関係を強化するなど、教育施策等と一層の連携を図ってまいります。

**酒井** 一家の大黒柱である中高年層の方や、失業率が極めて高い若年層に対しては、より手厚い就業支援を行っていくべきと考えますが、所見を伺う。

**安藤雇用就業推進担当部長** 雇用状況がより厳しい中高年求職者に対して、民間カウンセラーを重点的に配置するなど、早期に就職できるように支援を行ってまいります。

また、若年求職者に対しましては、専用のフロアを設けて相談しやすい環境を整備しまして、就職指導を行っていく予定です。



### 「中小企業融資制度について」

**酒井** 新年度の予算においては、中小企業制度融資を、融資メニューや金利設定の見直しによって、さらに利用しやすく再構築していくという方針ですが、具体的にどのように再構築をしていくのか。

**鹿島金融担当部長** 融資メニューについては、28項目のメニューを17項目に整理し、わかりやすく使いやすいものにします。例えば、創業関連融資では、現在、創業後1年未満と創業後1年から5年未満の二つに分かれているものを一本化します。

次に、金利については、変動金利も選択できるようにするとともに、融資期間3年以内、5年以内、7年以内、10年以内の4段階を設定し、それぞれ期間リスクに合った金利を設定します。

**酒井** 今回の再構築を行った結果、現行の制度に比べ、中小企業にとってはどのように利用しやすくなるのか。

**鹿島金融担当部長** 融資メニューについては、わかりやすく、利用目的に適した選択が容易になるほか、事業多角化、転換などのメニューにおきましては、審査会が必要であったものを省略することで、融資のスピードアップが図られます。また、金利設定については、金融機関が融資期間によるリスクに見合った金利を得られることで融資しやすくなるとともに、事業者にとっても必要な資金が確保しやすくなります。とりわけ短期の融資の場合には、従来にも増して低利での借り入れが可能となります。

**酒井** 中小企業制度融資については、都だけではなく、区や市部においても同様な制度を導入していますが、都内のある区における制度融資において、東京都の制度融資も担っている有名な都市銀行の担当者に、利子の上乗せを要求されたという情報があります。具体的には、制度上1.7%の金利のものを、その担当者は3%にしてくれないか要求されたそうで、結果としては、その中小企業の経営者がこれを拒否したところ、本来の利率で融資を受けることができたということです。このようなことは、中小企業への資金流通を確保し、中小企業の資金調達の支援を図っていくという中小企業融資制度本来の目的を阻害するものでもあります。

厳密に言えば、都の融資制度と区や市部における融資制度とはシステムが違うと思いますが、万が一、東京都の融資制度において同じような事例が起こり、苦情が寄せられた場合、東京都としてはどのような対応をとることになるのか、念のため伺います。

**鹿島金融担当部長** 東京都の制度融資におきましては、そのような事例は見受けられませんが、ご指摘のような事例が発生した場合、制度融資本来の目的を阻害するものと認識しています。そうしたことがないように、金融機関が制度融資を実行した場合、都は、日ごろから信用保証協会経由で金利の報告を受けております。万一、制度上の金利の上限を上回るようなことがありましたら、当該金融機関に対しまして、迅速な改善を求めてまいります。

2004(平成16)年6月 No. 18



## 都議会レポート

発行 都議会民主政策調査会  
所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1  
電話 03-5320-7230 F A X 03-5388-1784

### 青少年の健全育成を問い直す

前回の都議会で、青少年健全育成条例が改正され、青少年は刃物を買えなくなりました。このときも私たちは、規制だけではなく刃物を欲しがらぬ気持ちの問題、大人自身が社会の有様を問い直す必要性を訴えました。

佐世保市の小学生が同級生をカッターで殺害した事件を受け、改めて、メディアリテラシー（情報判断能力）の育成と地域社会の再構築に取り組む必要性を主張。

これに対し石原知事も「社会全体の責任であり、私たちが反省しなければこうした問題は後を絶たない」と危機感を示しました。

### 地元の理解と協力が必須 横田基地軍民共用化

首都圏において増大を続ける航空需要対策の一つとして、都と国は米軍横田基地の軍民共用化を進めています。しかし、瑞穂町や昭島市といった地元から、情報提供のないままに共用化への既成事実を積み重ねられるのではないかと懸念する声が上がっています。

私たちは、このような地元の声を真摯に受け止めるべきと主張し、都から「共用化の実現には地元の理解と協力が極めて重要」との認識を引き出すとともに、「地元の理解と協力を得られるように努める」との答弁を得ました。



### 食の安全を追求！ 食品の輸入原材料の情報提供を

生産から流通に至る生産履歴情報は、食の安全を確保する上で重要ですが、輸入食品には、小分けや加工等の流通過程で、この情報が継続されない可能性があります。

私たちの指摘に対し、都も「現行法は、違反食品の排除を目的としており、原材料産国の情報を伝達できる仕組みになっていない」と制度上の不備を認め、「新たな法の制定が必要であり、国に要望する」と述べる一方で「都が、四月に創設した制度は、原産国などの生産履

歴情報を確保することも可能なので、この制度の普及拡大を図りたい」と答弁しています。

### 介護予防でイキイキ生活

高齢による心身の衰えは、じわじわと現れ、自分では気づきにくく、仮に気づいても、老化現象だからとあきらめがちです。また、今までは科学的根拠に基づいた介護予防は行われていませんでした。

しかし、早期かつ的確な対処で元気を取り戻す方法を、東京都老人総合研究所が開発しました。今年度都内二地区で大規模な実証実験が行われます。

私たちは、このプログラムを身近な地域で継続的に受けられるようにすべきと主張し、都から「都内全区市町村へ普及させる」との答弁を得ました。

### スペシャルオリンピックスを知っていますか

スペシャルオリンピックスは、知的障害者のスポーツトレーニングと成果発表の場です。その世界大会が来年、日本で開催されます。

私たちは、地域生活には、生活寮整備や就労支援と同時に、生活に楽しみを持つことと心のバリアフリーが必要と考えています。

そこで、世界80カ国2,500人の参加者がやってくるこの大会をノーマライゼーション促進の契機にすべきと主張しました。

都は、障害者の社会参加と自立に大きな意義があるとともに、障害者に対する理解を深める契機になるとの認識を示し、機会を捉えて積極的に周知する、としました。

### まやかしの小泉「三位一体改革」 真の分権改革の実現へ

小泉内閣は三位一体改革で、四兆円の補助金削減と三兆円の税源移譲を決めましたが、具体案は今秋に先送りとなりました。しかも、補助金削減案は自治体任せ。自治体が自らの財源で、責任を持って行政を進めるという分権改革にはほど遠い内容です。

石原知事も「時間だけが空費されている」と強く批判、政治家が官僚に振り回されず、責任を持って取り組むよう求めました。

都は、今後、全国知事会をはじめとした全国の自治体と連携して、第一段階としての三兆円の補助金削減案をまとめるとともに、国庫補助負担金の削減、抜本的な税源移譲、新たな財政調整の仕組みの創設など、具体的な内容を盛り込んだ分権改革案をまとめ、小泉内閣に実現を迫るとしています。

私たちも、参院選の論戦を通じて、分権改革を実現していきます。

### 被害者支援をつくる会

当会は、被害者支援に関心を持つ地方議員や市民、そして実際に犯罪の被害者に会った方々が参加している団体で、酒井も設立当初から参加しています。現在、月一回のペースで勉強会やセミナーを開催し、犯罪被害者支援に関する自己研鑽や市民への周知を図っています。今回4月19日から27日まで、この会のメンバーである新恵里さんのコーディネートで、新さんが以前インターンとして活動していた「アメリカ合衆国ペンシルバニア州チェスター郡犯罪被害者支援センター他」にて研修に行ってきました。日程的にはかなりハードなもので、被害者支援センターの活動のみならず、DVの関係や少年裁判所、地方裁判所、検察庁などにも赴き勉強してきました。また訪問期間は全米犯罪被害者支援週間中で、チェスター郡における追悼集会のお手伝いや大学での集会への参加、また最終日には被害者支援のための5キロマラソンにも参加してきました。今回の研修において感じたことは、アメリカにおいては犯罪被害者の精神的なケアのみならず、経済的支援のシステム、訴訟参加のシステム等、広範な支援システムが確立され

ていることでした。支援センターの所長さんの話ではまだまだやりたいことがあるみたいでしたが・・・とにかくとても勉強になりました。酒井自身この経験を都政の中に活かしていきたいと考えていますが、会としても今、研修結果を本にしたいと話合っています。もし本になったときには、ご紹介させていただきます。また、会としての活動も毎月行っていますので、ご関心のある方は是非参加して下さい。予定等については直接お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



視察



○海外調査（2月3日～12日）  
イギリス「VICTIM SUPPORT NATIONAL OFFICE他」  
スウェーデン「国際手話通訳協会他福祉施策」  
ドイツ「ベルリン及びフランクフルト観光公社、空港運営会社「FRAPORT」」

都議会海外調査団一員として調査に行ってきました。イギリスにおけるVICTIM SUPPORT NATIONAL OFFICEは、酒井が都議会の中で取り組んでいる犯罪被害者支援に関するイギリス国内の全国組織で、もちろん酒井のリクエストによるものです。現地ではこの本部組織の他にロンドン市イズリントン区の支部

組織や裁判所を訪問し調査してきましたが、日本とは比べものにならない国を挙げての支援体制と市民の意識の違いに驚かされました。詳しい報告については都議会民主党のホームページに掲載されていますので、是非ご覧になって下さい。都の条例作りにもこの調査結果をしっかりと活かして参ります。



<http://www.togikai-minsyuto.jp/>

○経済港湾委員会（5月10日・11日）  
愛知県・名古屋市「大須商店街・名古屋港・市場・万博会場」  
経済港湾委員会の視察で名古屋を訪問しました。今、名古屋は日本の中では珍しいくらいの好景気を誇っています。その主因は自動車産業、特にトヨタの業績が貢献しています。今回、一時期は衰退していたものの現在復活を果たした大須商店街を調査しましたが、いくつかの商店街が連携を組み、商店街としての個性を出すため業種によりゾーニングを行い、お客さんに「あのエリアに行けば〇〇がある」と思ってもらえるような商店街作りを行っているとのことでした。規模や状況に違いあり、立川の商店街にすぐに当てはめることはできませんが、考え方としては参考になると思いました。

○十六夜会<都議会民主党一期生の会>（6月11日）  
渋谷区「渋谷コミュニティバス」「NHK放送センター」「渋谷センター街等治安状況について」

毎定例会ごとに行っている一期生の視察で、今回は渋谷区に行ってきました。NHK放送センターは以前NHKに勤めていた柿沢議員の紹介で地上波デジタル放送の説明や朝ドラ「天花」（ちなみに酒井は見えていません）の撮影現場を見てきました。またセンター街等の治安状況については、都の青少年健全育成条例の改正条項が施行されたことを受け、警視庁の案内によりブルセラや生セラショップ等の状況も見てきました。条例の施行により、警察官も指導しやすくなったとのことですが、治安状況はあまり良いとはいえ、全都的な問題として取り組みを強化していかなければならないことを痛感しました。



○都外調査（7月13日・14日）  
長崎県「基本計画を議会の議決とする条例について」  
福岡市「自治協議会について」

友人の区議会議員と共同で、長崎県議会と福岡市のコミュニティ作りの調査に行き参りました。長崎県議会では、本来議会の議決事項ではない行政の基本計画を議会の議決に伏す条例を制定し議会の活性化を図ろうとしています。この条例によって、行政側からの議会に対する説明はより慎重に行われるようになったとのことですが、まだまだ議会における議論の活性化までにはつながっていないようでした。要検討条例です。また福岡市における自治協議会については、小学校区ごとに協議会を作り、そこに自治会や体育会などの地域組織を連携させ、従来それぞれの組織に補助金を支給していたものを一括交付することにより、その地域でより自治意識を持って活動してもらおうという施策です。これは強制しているものではなく、順次状況が整った校区から協議会を設立しているとのことでした。地域によって色々と状況が違うということもありますが、自立した市民による地域自治を進めていく上で、一定の価値ある施策であると思います。

### 酒井大史を支えて下さる 皆さまへのお願い

- その1 立川市にお住まいのお友達の方をご紹介下さい！
- その2 空いた時間やお休みの日にピラ配りなどをボランティアでお手伝いして下さる方を待っています！
- その3 未使用の切手や文具類などを寄付していただけますと助かります！
- その4 お友達とのサークルやお茶飲み会に、酒井大史を呼んで下さい！（都政報告等もいたします）
- その5 酒井大史後援会会員・シンクタンクメンバー募集！

### ● 後援会入会のお願い ●

- ・会費 1口 500円/年
- ・その他 カンパなどして頂ければ助かります。
- ・振込先 ① 名称「酒井大史後援会」  
② 多摩中央信用金庫 本店（普）5106462  
または郵便振替「00160-5-729481」

お問い合わせ先 ☎ 042-528-6522  
ご入会頂いた方には「We can.」をはじめとして、定期的に活動報告をご郵送する他、各種ご案内をさせていただきます。

### ● Profile ●

昭和43年（申年）5月8日生まれ36歳。O型。  
立川市立第2小・中学校卒。都立武蔵村山東高校卒。中央大学法学部を普通の成績で卒業し、伊藤忠建機（株）入社、本社管理部に配属。平成6年3月市議選出馬のため退社。  
平成6年6月19日立川市議会史上最年少（26歳1カ月と11日）にて当選2期、厚生・文教委員長を歴任。平成13年6月11日都議選出馬のため辞職。  
平成13年3月中央大学大学院法学研究科博士前期課程修了。修士論文「地方自治体における電子取引活用基盤の法的研究」。  
平成13年6月24日東京都議会議員選挙初当選。  
経済港湾委員会副委員長。民主党東京都第21区総支部幹事長。民主党東京都立川市支部支部長。行政書士。  
東京都行政書士会立川支部相談役。立川市柔道連盟顧問。北多摩西（立川）BBS会員。立川青年会議所会員。  
趣味は、テニス、野球、スキー、茶道、映画・音楽鑑賞、バイク、MAC。  
著書は、共著「はじめよう！被害者支援」被害者支援を創る会。  
身長：175cm 体重：85kgぐらい